

Vision2010

- 未来を表現しよう -

高校3年・数学(情報)

田園調布雙葉高等学校

情報 小林 潤一郎

j.kobayashi@denenchofufutaba.ed.jp

キーワード：プレゼンテーション, 表現学習

1、発表の概要

高校3年生 選択授業 数学「パソコン演習」の内容を発表する。(この授業は科目「情報」の前倒しのものとして実施された。)

4種類のプレゼンテーションを通じての表現方法を学ぶ授業を行った。その中の最終課題であったVision2010プレゼン特に取り上げる。

自分の2010年(高校3年生はその時26歳)の姿をグラフ・図解を含めたパワーポイント、+1分間のビデオもしくはCGソフトを用いて表現し、様々な表現手法の中から最適なものを選択し、組み合わせることによって表現力の幅が広がることを学んだ。

全体のスケジュールと各プレゼンテーションの狙いは以下の図1、表1のとおりである。

図1、全体のスケジュール

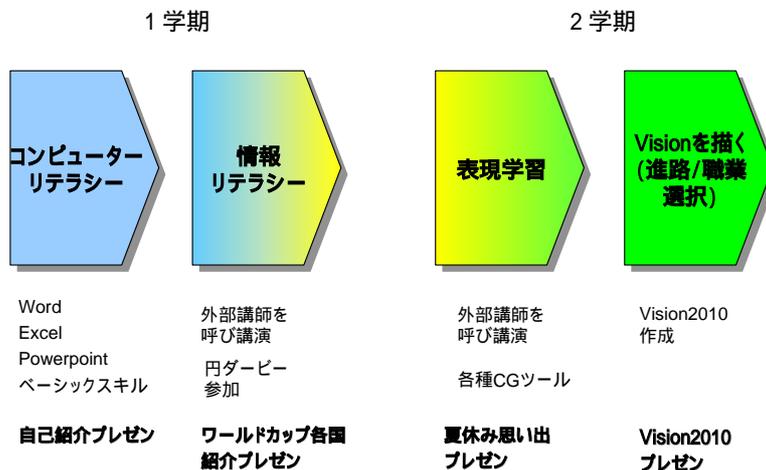


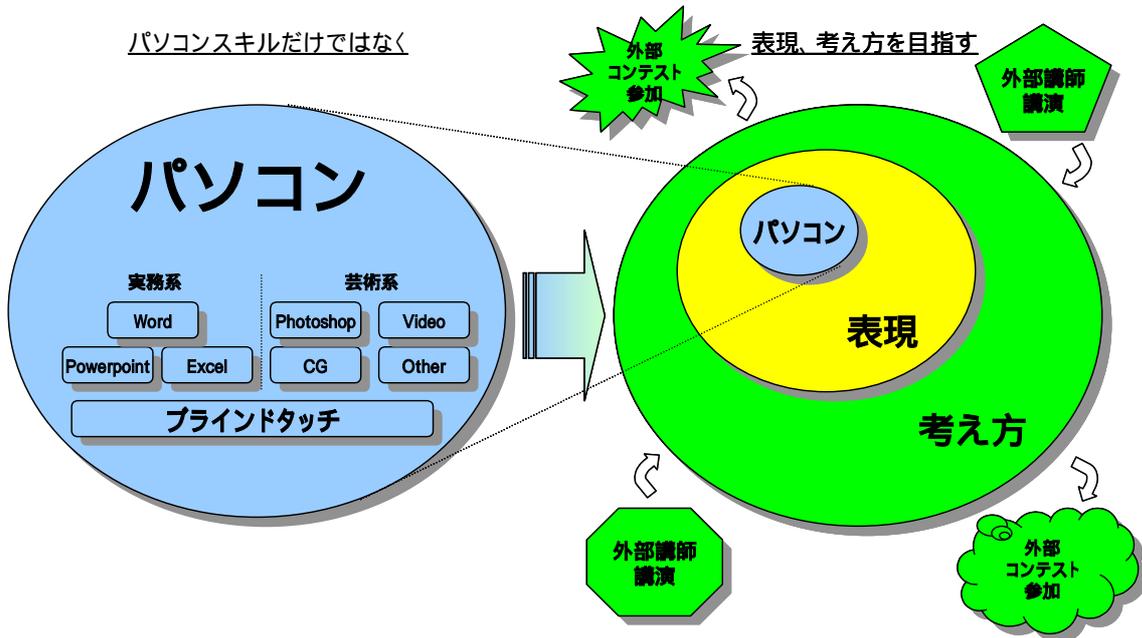
表1、各プレゼンテーションの狙い

プレゼンの種類(時間)	必要なソフト/機器	ねらい
自己紹介プレゼン(5分)	Powerpoint デジタルカメラ	基本的なPowerpointの機能、プレゼンテーションの方法を学ぶ。写真(もしくは図)という伝わりやすい素材を用いること、自分の紹介という作成しやすい内容を選ぶことによりプレゼンテーションの敷居を低いものとしている。
ワールドカップ各国紹介プレゼン(5分)	Powerpoint	A4用紙 2ページレベルの文章を一枚のスライドにまとめる。図解表現の基本を習得することで、“読ませ”て伝えることと“見せる”伝えることの違いを学ぶ。
夏休み思い出プレゼン(3分)	-	Powerpointを含めて資料を何も用いないことにより、言葉のテクニック(明確さ、大きさ、速さ、間、抑揚など)と言葉以外のテクニック(表情、ジェスチャー、アイコンタクトなど)を学ぶ。
Vision2010プレゼン(10分)	Powerpoint CGソフト ビデオ編集ソフト ビデオカメラ	自分の2010年(高校3年生はその時26歳)の姿をグラフ・図解を含めたパワーポイント、+1分間のビデオもしくはCGソフトを用いて表現する。様々な表現手法の中から最適なものを選択し、組み合わせることによって表現力の幅が広がることを学ぶ。

2、アピールポイント

パソコンスキルだけではなく、パソコンを使って何を表現するのか、その表現というのはどのような考え方で成り立っているのか、ということに主眼を置くことを第一の目標にしている。(図2参照のこと)

図2、情報科の目指すところ



また、企業から一学期に一度外部講師を呼び、世の中の話をしてもらっている。具体的な実践は以下(表2)である。

表2、外部講師 実践例

<p>実践1：学生円ダービー参加 2002年5～7月に実施。 日本経済新聞社主催の学生円ダービーに参加する。 (5、6、7月末の東京外国為替市場の円・ドル相場を予想し、実際の相場とのかい離幅を競い合う) モルガンスタンレー証券に勤めている社会人を講師として招き、円相場の予想方法の講義を受け、その後実際に予想を行った。 上位には食い込めなかったが、ユニーク賞として学校の名前が日本経済新聞に取り上げられた。 http://www.nikkei.co.jp/enq/yendb/</p>	<p>実践2：ユビキタス講座 2002年9月に実施。 多摩美術大学で情報デザインを教えている助教授の方を講師として招き、ユビキタスについての講義、実践を行った。 生徒は、ユビキタスというのが単純にどこでも使えるという意味だけではなく、どのようなインターフェイスであることがより使いやすいかということに着目しているのだということを理解し、新たな視点を持つことができた。</p>	<p>実践3：キャリアパス作成 2002年10月に実施。 「2010年のありたい自分」をプレゼンする卒業制作課題 "Vision2010" の中で自分を客観的に振り返るステップとして(株)アーキットの起-動線の「自分ナビ」作成プログラムを活用した。 http://www.ki-dousen.net/ 若手の社会人向けのツールであり、質問事項としてもレベルが高く、セルフコーチの意味合いが強いのであるが、生徒は世の中の人がこのように自分を見つめているんだということを客観的に体験することができ、自分の人生設計をより明確にすることができた。</p>
--	--	--